

授業科目 教育課程論

【担当教員名】 後 藤 康 志		対象学年	3	対象学科	健康・スポ・看護
		開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 個人の幸福と社会全体の幸福を調和的に実現するために、公教育の枠組みが必要となる。ここで問題となるのは、無数の文化的価値の中からいかなる内容を選ぶのか、その選ばれた内容をいかに組織し、「なにを・いつ・だれに」教えるのかをいかに決定するかである。教育を目的・内容・方法で分けるならば、この内容に当たる部分が教育課程である。本講義では教育課程の意義、編成原理、編成上の様々な要請について検討する。ここで学んだ教育課程編成の考え方を活かし、各教科の専門科目における教育課程について分析し批判的に検討することを目標とする。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 教育課程の意義について知る。 2. 教育課程編成の編成における歴史的・社会的・思想的背景について説明できる。 3. 教育課程編成における原理・原則を説明できる。 4. 教育課程の編成と評価について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	教育課程の意義			1	講義
2	近代日本の教育課程の歩み：近代学校制度と教育課程			2	講義
3	現代日本の教育課程の歩み：系統主義、経験主義			2	講義
4	現代日本の教育課程の歩み：教育の現代化、人間性重視の教育			2	講義
5	現代日本の教育課程の歩み：新学力観、生きる力、確かな学力			2	講義
6	教育課程開発の新しい動き：生活科、教育課程再編構想			3	講義
7	教育課程の思想と構造：生活と科学、領域論			3	講義
8	教育課程の思想と構造：領域論、履修原理			3	講義
9	教育課程の編成：構成要件、編成論の変遷			3	講義
10	教育課程の編成：基本原理			3	講義
11	教育課程の評価：学力評価、真正の評価			3	講義
12	社会における教育課程：近代学校批判			1	講義
13	教育課程編成における今日的課題			1	講義
14	諸外国の教育課程改革			1	講義
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新しい時代の教育課程	田中 耕治 ほか	有斐閣	1,900円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席、小テスト、期末テスト、ワークシート等から総合的に判断する		【履修上の留意点】 必要に応じてPCやLANケーブルなどの持参を求めることがあります。			